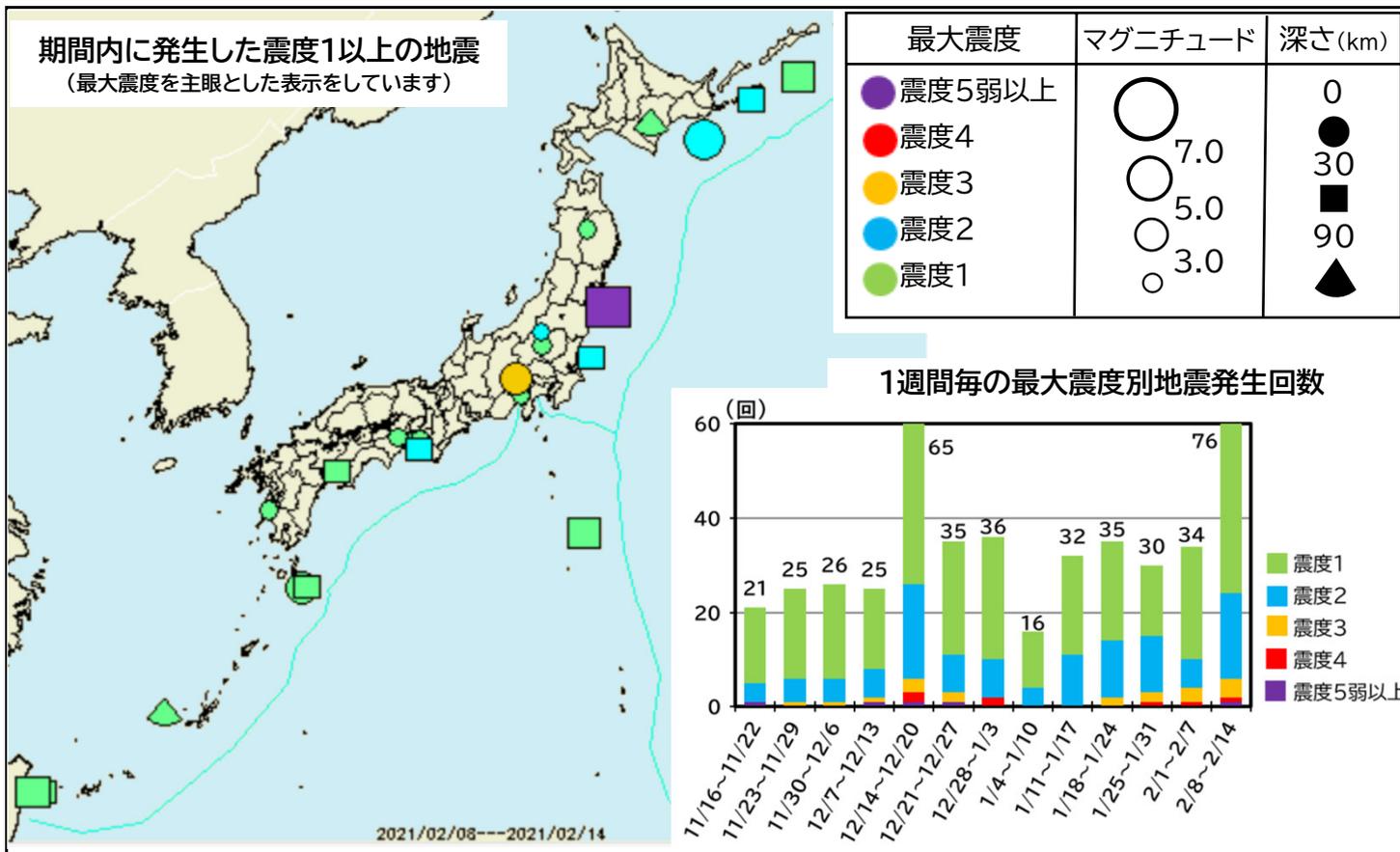


この期間の最大震度は6強(福島県沖の地震により福島県相馬市など)

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況

- この期間、震度1以上の地震が76回発生。最大震度は6強■
- ・13日19時52分に山梨県中・西部で発生した地震(M3.6、深さ12km)により山梨県北杜市で震度3を観測。この地震は地殻内で発生した横ずれ断層型。この付近でM3を超える地震は1997年10月以降では初めて。
- ・13日23時07分に福島県沖で発生した地震(M7.3、深さ55km)により福島県相馬市、新地町、国見町、宮城県蔵王町で震度6強を観測した他、北海道から中国地方にかけての広い範囲で震度6弱~1を観測(トピックス参照)。

トピックス

- 13日23時07分に発生した福島県沖の地震 ■
- ・この地震は、東北地方の下に沈み込む太平洋プレートの内部で発生した逆断層型の地震で2011年3月11日の東北地方太平洋沖地震とはタイプが異なる(図参照:東北地方太平洋沖地震は太平洋プレートと東北地方の陸のプレート(北米プレート)の境界で発生した地震)。東北地方太平洋沖地震の余震域内で発生。
- ・Mが7を超える地震であったが、震源の深さが55kmと深かったため、地殻変動が海底面に達しなかったため津波は発生しなかった。
- ・大きな揺れを感じた福島県・宮城県では津波による被害の発生が懸念されたが、気象庁から早期に、被害を伴うような津波の心配は無い旨の情報が発表されたため、揺れに対する防災対応に専念できる的確な情報だったと推察される。
- ・外見上は大きな被害が見えないが、商業施設では商品の落下、住宅では家具の転倒・食器の散乱などの被害が目立つ。
- ・15日12時までの震度1以上を観測した地震はグラフのとおりで55回。
- ◆注意すべきこと◆
- ・今後1週間程度は、今回と同じ最大震度6強程度の地震が発生することもあるので注意。
- ・大きな余震があることを前提とした行動。大きな揺れを感じた場合の行動をイメージして、落ち着いた行動。
- ・今回は津波が発生しなかったが、余震でも津波は発生しないと決めつけられないこと(場合によっては津波を伴う事もあり得る)。
- ・大きな揺れにびっくりして階段を踏み外して怪我することが過去にもあるので落ち着いて行動。
- ・ブロック塀や急傾斜地には、可能な限り近づかない。
- ・この海域は元来大きな地震が発生している所であり、今回の地震を契機として改めて日頃からの備えを確認しましょう。

